

2011年度

科目名	日本文学講読Ⅳ		
担当教員	高橋 圭一		
配当	日文1(2111)	コード	11006
開期	前期	講時	月曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	元禄大坂の流行作家、井原西鶴を読む。		
目的と概要	近世文学きってのストーリー・テラー井原西鶴の作品を丁寧に読む。西鶴の生涯と彼が生きた時代の大坂についてざっと触れたのち、四～五編を細かな語釈・解説を加えつつ楽しく読む。		
成績評価法	学期末の試験(論述式)80%、平常点20%。		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	講義中に随時紹介する。		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	西鶴の文章は決してやさしくはない。現代語訳はあてにならない。講義中、よく聞いておくこと。前期と後期とでは、読む作品を一部入れ替える。講義に出席する前に、本文を読めないところがあっても、一度音読しておくこと。		
講義計画			
第1回 西鶴の生涯、西鶴と大坂。 第2回 続き。西鶴と俳諧、西鶴と出版。 第3回 続き。代表作品の解題。 第4回 『好色一代男』巻五の一「後は様(さま)つけて呼ぶ」。 第5回 続き。最高の太夫(たゆう)吉野の魅了とは。 第6回 『万の文反故(ふみほうぐ)』巻二の三「京にも思ふやう成事なし」。 第7回 続き。結婚狂想曲。結婚・離婚を繰り返したその果ては？ 第8回 『世間胸算用』巻二の一「銀一匁の講中」。 第9回 続き。誤って人に銀(かね)を貸してしまった商人は、どうやってその銀を取り戻したか。 第10回 『武道伝来記』巻三の一「人差指が三百石が物」。 第11回 続き。天晴れ若衆。比べて敵の情けなさ。 第12回 続き。 第13回 『日本永代蔵』巻一の二「二代目に破る扇の風」。 第14回 続き。金を貯めるは難し、使うは易し。 第15回 今回の講義のまとめ。			